

進路通信

2021年 第18号 2月10日(水) 発行



高2 佐藤純先生の数学

学年末テスト!



1 学年末テスト!

2月10日(水)で、三学期の**学年末テスト二週間前**となりました。今年は様々な状況を想定して、学年末テストの実施時期も早まっています。年度最後の定期テストでもある学年末テストの意味について再度確認しておきたいと思います。

今年は事情が異なりましたが、通常であれば一学期の成績は、中間と期末の2回のテストを中心につけられます(もちろん小テスト・提出物・授業態度などを総合的に評価されて)。二学期も同じです。ところが三学期のテストは学年末テスト1回しかありません。この1回で成績が決まります。ですから学年末テストは年間5回の定期テストのうちの1回ではなく、**6回のテストのうち2回を一度に受けるようなもの**です。高得点を取ることができれば2回連続で取れたのと同じですし、赤点になればそういうことです。

特に高1は科目数が多いですよ。3年間の評定は全ての成績を全科目数で割って平均を出します。当たり前ですが学年が上がれば科目選択で絞られていきますので、**高1の成績が非常に重要**となります。



高2 横山先生の英語



高1 小嶋先生の生物

二学期は、高1・高2ともに**中間テストから期末テストにかけて学年平均点が大きく上昇**しました。「中間より平均点が上がったのに順位が下がった…」という人もいるでしょう。順位も模試の偏差値も相対的なものですので、自分が頑張っても他人も頑張っていれば簡単にはあがりません。でも学力は確実に付いていきます。諦めずに継続して頑張ってください。

2 量か質か?

よく生徒に「勉強は**量と質のどちらが大事ですか?**」と聞かれます。まあ、そんな質問してくる段階で量も質もないわけですが、結論を言えばどちらも大事です。大事なんですけど、それまで量も質もなかった生徒がいきなり両方は難しいですよ。私はいつもこのように答えています。例えば、普通に1日4時間勉強することと、集中して1日2時間勉強することと、どちらが効果があると思いますか? 答えは、「1日だけならどちらも効果は少ない」です。大切なことは何かというと、**継続すること**です。1日普通に4時間だろうが、1日集中して2時間だろうがどちらも構いません。それを1週間、2週間、1カ月、3カ月と継続できれば、どちらも大きな効果があります。そして継続するなかで徐々に勉強の質も高くなっていくのです。まずは続けることです!



高1 松下先生の英語



中1 佐藤善先生の国語

3 教えることは学ぶ事

今回のように定期テストが近づいてくると、休み時間や放課後の教室で友人に勉強を教えたり教わったりする姿が増えてきます。農三のよいところだと思います。勉強はインプットの後には**必ずアウトプットが必要**です。アウトプットというのは、「出力・発信すること」という意味で、「**知識や情報を目に見える形にする**」という意味です。実はこのアウトプットの学習効果は非常に高いんです。アウトプットには、問題集をやる、小テストを受けるなども含まれますが、「教える」ことは最高のアウトプットです。他人に「教える」と、わかりやすく伝えようとするため、**頭の中の情報が整理**されます。より知識や理解が定着するのです。テストまで残り2週間、教えあいながらお互いに学んでいきましょう。(佐野)